

地球のワクワク！発見しよう

～私が主役！なかまと一緒にみらいを作る～

こどもエコクラブ

2022年度事業実施報告書



公益財団法人日本環境協会

こどもエコクラブ全国事務局

<後援 環境省>



こどもエコクラブ

目次

■ はじめに	2
■ こどもエコクラブのミッション・ビジョン	3
■ 2022年度のトピックス	4
■ 事業報告	7
□ 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり	7
(1) こどもエコクラブの認知度向上	
(2) こどもエコクラブへの登録促進	
□ 環境活動・学習の活性化促進	14
(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供	
(2) 教材・プログラムの提供	
(3) 活動レポート、壁新聞へのフィードバック	
(4) 企業・団体との連携および協働の推進	
(5) All Japan Youth Eco-club	
□ 環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ	23
(1) 地域活動活性化	
(2) 全国規模での交流と顕彰	
(3) 他団体からの表彰	
■ 地域事務局の取組事例	27
■ ご支援いただいた企業・団体	30
■ 登録データほか	31
■ 全国エコ活コンクール 受賞作品	35

はじめに

新型コロナウイルス感染症の発生・世界的流行から3年強、ようやく収束の気配が見えてきました。中止やオンライン開催を余儀なくされていた子どもエコクラブの全国フェスティバルも、2022年度は4年ぶりに対面で実施することができました。壁新聞の前で元気に活動発表したり、遠方のクラブと一緒に記念写真を撮ったりする子どもたちの様子を見て、直接顔を合わせての交流にはやはりオンラインに代え難い意義・魅力があるとあらためて実感しました。

2022年12月、カナダのモントリオールで「国連生物多様性条約締約国会議(COP15)」が開催され、生物多様性保全に関する2030年までの新たな国際目標が採択されました。その目玉が、2030年までに陸域と海域面積のそれぞれ少なくとも30%を保全する、という「30 by 30」です。日本ではこの目標を受けた行動計画として「生物多様性国家戦略」が定められました。生物多様性を損失から回復へ向かわせる「ネイチャーポジティブ(自然再興)」をキーワードに、「30 by 30」に関連する取組として企業や大学が所有する土地も保全エリアに組み込む仕組みが整備されました。地域の生物多様性保全に向けた市民の行動がますます重要性を増していくと見込まれます。

子どもエコクラブは2022年度、コロナ禍の落ち込みから脱却し前年度を大きく上回る2,082クラブが登録、92,112人の子どもたちが全国各地で様々な環境活動に取り組みました。65の企業・民間団体が協賛、寄附およびプログラムの共同事業等でご支援くださったほか、536の地方自治体に地域事務局としてクラブの活動を支えていただきました。生き物観察や在来種の保護など自然・生物多様性に関する活動は特に人気が高く、多くのクラブが取り組んでいます。身近な環境に関心を持ち、地域の自然を守ることもエコクラブの実践は、「ネイチャーポジティブ」への転換を加速し生物多様性国家戦略の実現に貢献するものといえるでしょう。

2015年に定められたSDGsは、学校の授業でも取り上げられて多くの人たちに知られるようになりましたが、今年はまだ2030年に向けた折り返し地点となります。生物多様性のほかにも、気候変動をはじめ大切な目標を達成するために、かけ声だけでなく行動が求められています。子どもエコクラブ全国事務局は、多様な組織や人の参画と協力のもと、全国のクラブの活動を支援するとともに事業を継続・発展させる取組を2023年度以降も推進してまいります。引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023年4月 子どもエコクラブ全国事務局

こどもエコクラブのビジョン・ミッション

「こどもエコクラブ」は以下のビジョンとミッションを掲げ、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることが目的として、幼児（3歳）から高校生までの子どもたちを対象に、子どもたちの自主的な環境活動をサポートしています。

ビジョン（＝理想の未来）

だれでも参加できるこどもエコクラブが学校、市民グループ、企業等各主体をつないで、持続可能な地域社会に向けて活動を行っている。

ミッション（＝なすべきこと）

だれでも参加できるこどもエコクラブが学校、市民グループ、企業等各主体をつないで、持続可能な地域社会に向けて活動を行っている。

1. 環境学習・環境保全活動を通じて、子どもたちの「未来を創る力」を育てる。
2. 地域において環境に関心を持つ人を増やし、環境保全を促進する。

上記のビジョン・ミッションの下、継続的に

- 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり
- 環境学習・環境活動の活性化
- 環境学習・環境活動の意欲の向上・ステップアップ

の3つの柱を掲げて、様々な活動に取り組んできました。



2022 年度のトピックス



■ 4年ぶりの対面！全国フェスティバルの開催

2019年度末から続いていたコロナ禍によやく収束の兆しが見え、感染状況をにらみつつ社会全体で各種の制限が順次緩和し始めました。こどもエコクラブでも4年ぶりに対面での全国フェスティバルを企画、オンラインを併用したハイブリッド構成で開催しました。久しぶりに全国から元気なクラブが一堂に会し、日頃の活動の様子や地域環境への思いを熱く発信しあって、これからの活動の継続意欲を高めていました。また、企業団体からも環境やSDGsへの取り組みを紹介するブースや動画をご出展いただき、最新の環境技術を子どもたちにわかりやすく紹介いただきました。オンラインではなかなか感じ取れない「人と人が直接に接することで生まれるパワー」を参加者みんなで実感・共有しました。



～子どもたちの憧れの存在に！ユースの大活躍～

全国フェスティバルでは、前日の準備をはじめステージ司会、メインプログラムである「エコ活セッション」のファシリテーション、子どもたちの交流を促す「レクリエーション」の企画・実施をユースが主体的に担ってくれました。こどもエコクラブの先輩であるユースの活躍する姿はとても頼もしく、現役メンバーたちのロールモデルとなってくれました。サポーターにとっても、こどもエコクラブで活動していた子どもたちが次代を担う環境リーダーとして立派に育っていることを実感する機会となり、サポーターとしての達成感とこどもエコクラブの意義を感じていただけるイベントとなりました。



■ 地域団体として初！こどもエコクラブがエコマークアワード優秀賞に輝く

「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に向けて積極的に活動している企業・団体等を表彰する「エコマークアワード」（主催：エコマーク事務局（公益財団法人日本環境協会））において、品川区立山中小学校おやこエコクラブ（東京都品川区）が、「エコマークアワード2022」の優秀賞を受賞しました。

コロナ禍でもできることにチャレンジしようと「おうちで SDGs」をテーマに様々な SDGs アクションに取り組む中で、2021 年度のこどもエコクラブ全国一斉活動「エコマーククエスト」への参加をきっかけに、全校児童で身の回りのエコマークがついた商品を探してその商品にエコマークがついている理由を調べたり、他の環境ラベルとエコマークとの違いを調査したりしたほか、エコマークの趣旨や環境ラベルがついている商品を選ぶことが環境配慮につながることを身の回りの多くの人に継続的に発信した活動が評価され、栄えある「エコマークアワード 2022」優秀賞を受賞しました。

地域の環境活動団体として初の受賞でもあり、自治体広報をはじめ様々なメディアで取り上げられました。子どもたちの取り組みが社会的に認められたことから、子どもたちの達成感とクラブの今後の活動意欲向上につながっています。



後日主催者にて執り行われた表彰式では、クラブと同じ品川区内にある三菱鉛筆株式会社より受賞クラブへ海洋プラリサイクルボールペンが贈呈されるとともに、ペンからペンへの水平リサイクルの取り組みが紹介されました。



■ 「エコチルライブ」にこどもエコクラブコーナー新設

2021年度より株式会社アドバコムが発行する子ども環境情報紙「エコチル」の電子版（45府県版）と連携、当該メディアに全国のクラブの活動報告を月一回掲載して子どもたちの熱心な活動や事業の意義を全国に広く発信しています。2022年度はさらに連携を深め、YouTubeの生配信番組「エコチルライブ」でもこどもエコクラブのコーナー「こどもエコクラブ みんなのSDGsアクション！」をスタートしました。毎月各地のクラブが登場し、活動レポートや壁新聞等では伝え切れない環境への思いや日々の活動を「メンバーの生の声」で「活動現場」からリアルに紹介しています。生配信ならではの『子どもたちのワクワク』を今後も広く全国に発信していきます。



ふらぶらあぶらクラブの取組を紹介！【こどもエコクラブ】エコチルライブプレイバック配信【2022年1月配信】

■ ステークホルダーとの連携深化、活動プログラムの充実

こどもエコクラブに関わる様々なステークホルダーとの連携の深まりにより、企業団体とクラブが連携した活動の幅が広がっています。

- ・ 一般社団法人日本 WPA 様が企画・制作した「Eco かるた」の改訂に際し、SDGs や食品ロス、海洋プラスチックなど最新の環境トピックスを盛り込んだ読み札をこどもエコクラブメンバーが考えました。全国のクラブが一堂に会する全国フェスティバル（2023年3月開催）では、そのかるたを使ったレクリエーションプログラムを行い、「Eco かるた」を通して環境について楽しく学びました。
- ・ アース製薬株式会社様が、クラブの活動現場に赴いて野菜作りやグリーンカーテン作りなど、クラブの緑を育てる活動をサポートするスペシャル講座を開催、クイズ等を通してわかりやすく植物のお世話のテクニックやヒントを子どもたちに教えてくれました。



・こどもエコクラブに関わるステークホルダーが集まり情報交換をする「ステークホルダーミーティング」をきっかけに、株式会社プロントコーポレーション様と「エコクラブかわさき」（神奈川県川崎市）が連携、一緒に地域のクリーン活動をスタートしました。

事業報告

■ 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり

(1) こどもエコクラブの認知度向上

➤ ウェブサイト、SNSを通じた広報

こどもエコクラブの事業紹介のほか、クラブからの活動レポートや全国フェスティバルをはじめとするイベント報告を掲載し、こどもエコクラブ事業全体のみならず個々のクラブの活動についても積極的に発信しています。

2022年度の合計ページビュー：536,372PV

2022年度の合計訪問者数：178,555ユーザー

また Facebook や Twitter など、SNS を活用したリアルタイムの情報発信も行っています。



Facebook (2023年3月)

「いいね!」: 1,308件

フォロワー: 1,342人



各地域担当別 Twitter

地域に合わせた情報を発信

合計フォロワー数: 2,914人



Instagram

日々のピックスを画像で発信

フォロワー: 207人

➤ 外部メディアの活用

活動や事業のトピックスについて、適宜環境省・文部科学省など官公庁の記者クラブや地方紙等にプレスリリースを行いました。壁新聞の受賞の話題を中心に各紙・メディアに取り上げられました(主なものを抜粋)。

日付	メディア名	記事タイトル(掲載クラブ)
2022年4月19日	島根日日新聞	壁新聞が特別賞に 上津探検隊が知事に報告(上津探検隊:島根県出雲市)
2022年4月28日	朝日新聞	ブラックバス「からあげにしました」川の環境を守る小学生が図鑑作成(玉ーアクアリウム:兵庫県神戸市)
2022年5月4日	デーリー東北	エコ活コン 3度目受賞(緑と太陽の保育園 グリーン・キッズ:青森県十和田市)
2022年5月5日	高知新聞	SDGs 高知っ子奮闘(香美市子どもエコクラブ:高知県香美市)
2022年5月5日	東奥日報	壁新聞 エコまる賞(緑と太陽の保育園 グリーン・キッズ:青森県十和田市)
2022年5月10日	TokyoFM「サステナ*デイズ」	出演(逆川エコクラブ:茨城県水戸市)
2022年6月16日		出演(まきのはら水辺の楽校:静岡県牧之原市)
2022年5月17日	神戸市広報紙 KOBE	ほっとかないよ!みんなでできる外来生物対策(玉ーアクアリウム:兵庫県神戸市)
2022年5月30日	読売新聞	川の希少種 手描き図鑑(玉ーアクアリウム:兵庫県神戸市)
2022年6月9日	茨城新聞	千波湖にビオトープ(逆川エコクラブ:茨城県水戸市)
2022年8月24日	茨城新聞	Kids SDGs Eco Cup MIto 2022 平山きょうだい最優秀(逆川エコクラブ:茨城県水戸市)
2022年8月19日	日本工業新聞	子どもと環境活動 企業にもメリット(子どもエコクラブ事業)
2022年9月7日	GEOC ウェブサイト	子どもエコクラブ壁新聞「SDGsの秋にしよう!」
2022年10月16日	茨城新聞	第13回地域再生大賞 子どもエコクラブ選出(逆川エコクラブ:茨城県水戸市)
2022年10月20日	読売新聞	2団体振興奨励賞-あしたのまち・くらしづくり活動賞「新興奨励賞」(びわ湖エコアイデア倶楽部:滋賀県草津市)
2023年2月14日	しながわ写真ニュース	山中小学校おやこエコクラブが「エコマークアワード2022」の優秀賞を受賞(品川区立山中小学校おやこエコクラブ:東京都品川区)
2023年2月21日	中日新聞 Web	中部の未来創造大賞決まる 名古屋で表彰式(魚と子どものネットワーク:三重県亀山市)
2023年3月10日	茨城新聞	環境保全へ研究・調査(逆川エコクラブ:茨城県水戸市)
2023年3月16日	陸奥新報	HEP21 エコクラブ受賞 弘前だんぶり池 長年の調査活動評価(HEP21 エコクラブ:青森県弘前市)
2023年3月30日	福島民報	ハスの再生 活動に栄誉(いわき市立高坂小学校 SDGs 隊:福島県いわき市)



➤ ステークホルダーによる発信

地域事務局（自治体）や子どもエコクラブを支援くださっている企業団体からも、地域のクラブの活動の様子や支援内容等を発信いただきました。



神戸市広報 広報 KOBE



福岡県プレスリリース



株式会社タカラトミー ウェブサイト



こくみん共済〈全労災〉ウェブサイト



住友生命保険 記者会見



一般社団法人日本 WPA ウェブサイト



アルバルク東京 ウェブサイト



アプロクリート株式会社 ウェブサイト

➤ イベント等への出展・参加

自治体等が主催する環境イベント(オンライン含む)に参加・出展しました。子どもエコクラブ事業の紹介や楽しく活動するクラブの写真の展示などを行い、参加・登録を呼びかけました。

実施日	イベント名	主催者	内容
2022年7月30日・31日	環境広場さっぽろ2022	札幌市	ペットボトルやトレーで工作をしながら、プラスチックによる環境問題を考えよう！【札幌市と連携実施】
2022年8月1日～31日	環境省子ども霞が関見学デー	環境省	YES-NO チャートで、あなたにピッタリなSDGs アクションを見つけよう！【オンライン実施】
2022年10月27日	3R 推進全国大会 3R 推進展示コーナー	環境省、3R活動推進フォーラム	3R を含む地域に根差した活動を実践するクラブ紹介【パネル展示】
2022年11月26日	SAITAMA 環境フェア & 子どもエコフェスティバル	埼玉県	手作りのエコ・クリスマスカードを作ろう！
2022年12月7～9日	エコプロ2022	(一社)サステナブル経営推進機構、日本経済新聞社	お気に入りを選ぼう！子どもエコクラブ SDGs アクション 大賞【エコチルブースにて出展】
2022年12月10日	ESD 推進ネットワーク全国フォーラム2022	ESD 活動支援センター、文部科学省、環境省	SDGs に関連づけたクラブの活動紹介【パネル展示】
2022年12月24日	第20回『まちの先生見本市！』新宿 SDGs フェス2022	NPO 法人新宿環境活動ネット	サンタの防災スリッパを作ろう！
2023年2月9日～22日、25日～26日 (パネル展示) 2月6日～3月7日 (動画配信)	第21回草津市子ども環境会議	滋賀県草津市	子どもエコクラブ事業概要【パネル展示】 「未来の環をつなぐ・次代のエコリーダー！～子どもエコクラブからの発信～」【動画配信】



環境広場さっぽろ 2022



SAITAMA 環境フェア&子どもエコフェスティバル



エコプロ2022



第20回『まちの先生見本市！』新宿 SDGs フェス2022

➤ 広報ツールの貸し出し

地域事務局（自治体）等に、広報ツール（前年度に子どもたちが年間の活動をまとめた壁新聞、エコまる旗、エコまる着ぐるみ等）を貸し出しました（旗等：11ヶ所、エコまる着ぐるみ：3ヶ所、壁新聞12ヶ所）。



スタッフジャンパー



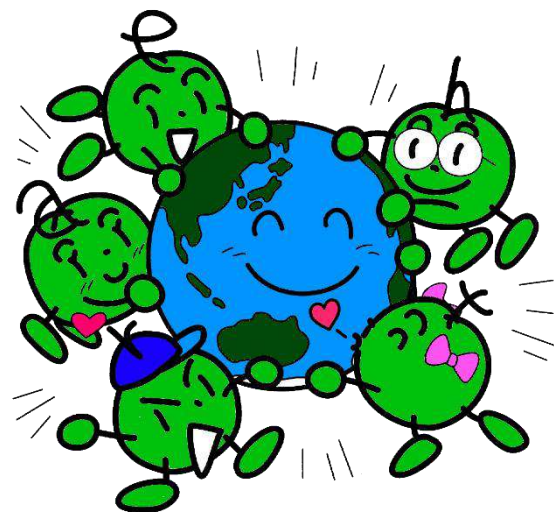
壁新聞



エコまる着ぐるみ



自治体 庁内ロビーでの展示の様子



(2) こどもエコクラブへの登録促進

環境活動を行う幼児（3歳）から高校生の子どもと、子どもたちの活動を支援する大人（サポーター）で構成したクラブの登録を受け付け、一元的な情報管理を行いました。

2022年度の登録数は、クラブ数：2,082クラブ、メンバー数：92,112名、サポーター数：17,089名でした。コロナ禍で、2020年度：8万5千人、2021年度：8万7千人となっていたところ、上記の通りV字回復いたしました。クラブ数は2016年度以来の2,000超えとなり、これまでの延べ登録メンバー数は約290万人となりました。

また、登録数の増加を目指し、以下のような取り組みを行いました。

➤ ポスター・パンフレットの配布

本事業に賛同して地域事務局として登録した地方自治体および関係方面に、クラブの募集ポスター、チラシを希望数配布しました。また、希望する自治体には版下用データを送付し、地域事務局名を入れた独自のポスターを制作できるようサポートしました。なお、チラシについてはこどもエコクラブウェブサイト内でも掲載し、適宜ダウンロードできるようにしました。



左：ポスター 右：チラシ

また、持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development: ESD）を推進しているユネスコスクールや、身近な水環境の全国一斉調査（国交省事業）の参加団体等、こどもエコクラブの事業趣旨や活動内容と類似の活動をしている団体に対して運営事務局への事業説明やチラシ配布をするなど、積極的に登録を働きかけました。



加えて、子ども環境情報紙「エコチル」にこどもエコクラブにメンバー募集の広告を掲載し、当該紙面配布地域の小学生および保護者に登録を呼びかけました（広告掲載期間：2022年12月～2023年3月）。

➤ メンバースタンプの配布

こどもエコクラブメンバーの証であるメンバースタンプを、新たに登録したクラブメンバーへの特典として配布しました。子どもたちの一体感醸成と活動のモチベーション向上に役立っています。

※クラブの個人情報には弊協会プライバシーポリシーにのっとり、適切に管理しています。

※都道府県別登録数、学年内訳等は、P.31「登録データ」を参照。



メンバースタンプ

■ 環境活動・学習の活性化促進



(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供

サポーター向けコンテンツとして、助成金情報や地域別のイベント情報の掲載を行っています。また、「リアルヴォイス」と題して、各地で充実した活動を行っているクラブの紹介や、メンバーたちの先輩であるクラブのOB・OGの方へのインタビューなどを掲載しています。これらを含めた更新情報を取りまとめてお知らせするメールマガジン「サポーターメール・マガジン」を月2回配信しています。



リアルヴォイス



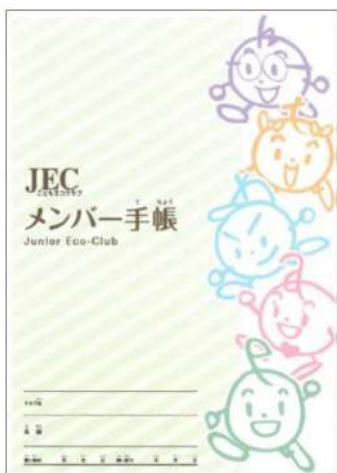
サポーターメール・マガジン

(2) 教材・プログラムの提供

➤ 手帳、エコカード等の作成・配布

子どもたちの活動への意欲・継続意識の促進を目的として、日頃の活動を記録するメンバー手帳を希望するメンバーに実費頒布しました。また、小学校入学前のメンバーを対象としたツール「ぼくの/わたしのエコカード！」を希望する未就学児がいるクラブに送りました。エコカードにはSDGsのアイコンを追加し、保護者・保育者のSDGsに関する認知・理解の向上を促しています。

サポーター(大人)向けには、事業趣旨や活動時の支援内容等を記載した「応援マニュアル」を新規登録クラブに配付しました。



メンバー手帳



エコカード



応援マニュアル



➤ 全国一斉活動の実施

全国のクラブが一つのテーマに基づいた活動をして子どもエコクラブとしての一体感を高め、メンバーの達成感・充実感をみんなで共有する活動を、企業・団体との協働により実施しました（カッコ内は連携・協働相手の企業・団体）。

① おうちで Bosai×Eco CAMP（こくみん共済 coop）

自宅で電気やガス、水道などのライフラインが使えない状況を想定したプログラムを企画しました。災害に対する日々の備えの大切さや命を守る行動について学ぶプログラムをまとめたワークブックを作成して、希望クラブに配布、ウェブサイト等を通じて参加を呼びかけました。

併せて本活動を通じて感じたこと・考えたこと等をまとめた活動レポートを募集、有識者による審査会にて優秀賞を選出・顕彰して、防災の重要性や災害時における安全な対応等について全国に発信しました。

〈活動期間〉2022年10月1日（土）～2023年3月31日（金）

〈防災活動レポート 表彰式〉2023年3月26日（日）※全国エコ活コンクール表彰式内にて実施



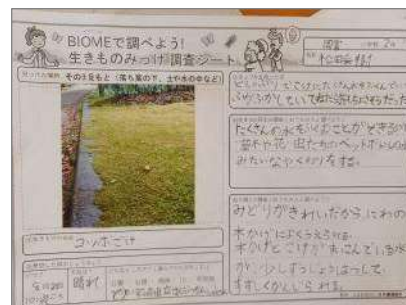
② 子どもエコクラブ限定クエスト「生きものみつけ」（三菱電機、バイオーム）



身の周りの生きものを見つけてスマホでコレクションできるアプリ「バイオーム」を活用し、見つけた生きものをクラブ単位で表示・集計して見つけた生きものの種類、数を競う「子どもエコクラブ限定クエスト「生きものみつけ」」を実施しました。三菱電機からは、見つけた生きものをより深く知る、学ぶための調査シートもご提供いただきました。

〈活動期間〉2022年7月20日（水）～2022年11月30日（水）

〈子どもエコクラブ全体の投稿数合計〉4,385件



(3) 活動レポート、壁新聞へのフィードバック**➤ エールメッセージ**

クラブから日々寄せられる活動レポートに対して、環境に知見のある弊協会のこども環境相談室・相談員より活動の発展につながるコメントやアドバイスを「エールメッセージ」として、投稿後 2 週間以内に送付しています。2022 年度は 1,013 件の投稿がありました。

<掲載例>**○秋探し ネイチャービンゴ**

公園の中で紙に書いてあるものを探す。紙にはビンゴのようなマス目に、赤い葉っぱ、木の実、飛んでいる虫など公園内で見つけれられる自然を書いておく。

<参加者のようす>

3 歳から小学生まで参加して楽しんでくれました。友達同士で競いやってどんどん進めている子やじっくり観察しながら、味わっている子、友達に聞いてみたり教えてあげたりしていました。

<感想・気づいたこと・考えたこと>

親子でゆっくり公園を楽しめました。特に太陽についてのマス目（太陽の光で輝いているもの、太陽が当たらない場所、太陽で暖かい場所など）は、普段どこでもできますが、改めて考えることによって、暖かい=熱=エネルギーになる、日陰=冷たい=じめじめ=それが好きな虫のように、いつもの遊びの体感から理論的につながることができて、子供たちが「なるほど」「そっか」の表情が印象的です。目に見える風のマス目では、意味わかるかなと思いましたが「木の葉っぱが揺れているから、風見えるね！」と…心配する必要はありませんでした。

**○エールメッセージ**

いろいろな秋をさがすビンゴゲームたのしそうですね。紙に書いてあったものを、みなさんはがんばってぜんぶ見つけて公園博士（はかせ）になりました。これはすごいと思います。

問題のなかの木の実や赤い葉っぱは秋らしいですね。この公園にはどんな木がありましたか。11 月だと、虫もだんだん少なくなってきたので、見つけるのはちょっとむずかしかったでしょうか。

このゲームをすることで、公園の木や虫などそれぞれの生きものと、太陽の光や風などの自然のことがらがいろいろなところできつなっているのを発見できたと思います。

みなさんが楽しく遊んでいる公園には、まだまだたくさんのおふしぎがかけています。季節が変わるとどうなるかな。今回のビンゴゲームのことを思い出して、これからも自然や生きものを観察してみてください。

次のレポートも楽しみにしています！

➤ 壁新聞道場！

2021 年度に提出された、1 年間の活動をまとめた壁新聞全 141 作品に対して、環境に知見のある弊協会のこども環境相談室・相談員より、壁新聞のまとめ方や効果的な伝え方、活動の発展につながるコメントやアドバイスを付し、「壁新聞道場！」としてウェブサイトで紹介しました。地域事務局からのメッセージも併せて掲載しました。

<掲載例>



★とっておきのゴシドウ★

新聞の内容が盛りだくさん。しかし、盛りだくさんすぎて詰め込みすぎたかな。読んでみようと思う人が、ちょっと全部読むのはしんどいと感じるかも。中心部分に書かれた活動でも十分様々なプログラムを実践されているので、今回は周りに並ぶ年間の活動を簡単に紹介するか、その記事自体をなくしてもよかったかもしれません。

今回の新聞のテーマ「未来へのバトン繋ぐのは私たち」となっていますが、そのタイトル通り、真岡児童館やさしくラブのこれまでの全ての活動についてまとめてあり、様々な活動を継続して続けてきたことがよくわかります。そしてこの活動が未来のメンバーにも引き継いでもらいたい現メンバーの気持ちやまとめの欄でもとても伝わってきます。ぜひ、これから作る壁新聞でも、テーマをつくり、今回の新聞のように、テーマが読者にも伝わる新聞作りをしてください。



【地域事務局からの応援メッセージ】

今年も、活動するが大変だったと思いますが、エコ活動を実践しているメンバー とサポーターの皆さんへ拍手です！！

継続して活動している様子がとても良く分かり、多くの人が力をもらえる壁新聞になったと思います。これからも未来へのバトンを繋いでいってください！！（栃木県）

➤ 活動レポートフォトコンテスト

活動レポートと一緒にクラブから寄せられる写真を活用したフォトコンテスト（協賛：ケニス）を3期に分けて実施・表彰して、活動報告の投稿を促すとともに、受賞作品を広報資料に掲載するなど写真を活用して元気に活動する子どもたちの様子をアピールしました。

<2022 年度 年間賞>



■子どもエコクラブ賞

魚と子ども Kids クラブ（三重県亀山市）
「ウェルカムよっかいち 早朝清掃 2022」



■ケニス賞

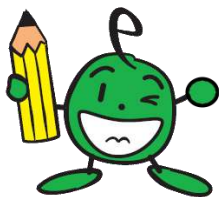
認定子ども園たから幼稚園子どもエコクラブ（福岡県大牟田市）
「蓮の葉っぱで遊んでみました」

➤ 新人賞、皆勤賞

毎月1回、その月に初めて活動レポートを投稿してくれたクラブの中から抽選で1クラブに「活動レポート新人賞」を贈呈しました（協賛：バンダイナムコホールディングス）。

また、四半期ごとに1回以上（合計4回以上）活動レポートを送ってくれた14のクラブに皆勤賞を授与し、日頃より熱心な活動をしているクラブとして称えました。

フォトコンテスト及び新人賞、皆勤賞は、より多くのクラブから活動レポートを投稿してもらうことをねらって実施しているものです。今年度の投稿クラブ数は106でした。





(4) 企業・団体との連携および協働の推進

2022 年度も様々な企業・団体様に、主催するコンクール等の広報活動を中心にこどもエコクラブと連携・協力していただきました。ウェブサイトやメールを通してサポーターや地域事務局に活動の周知を図り、多くの子どもたちに参加していただきました。

➤ アシストプログラム

パートナーになっていただいている企業・団体、地域事務局の自治体が有する環境学習教材やプログラム等を「アシストプログラム」としてウェブサイトで紹介しています。

■ アシストプログラム一覧（2023 年 3 月現在）

区分	団体名	プログラム名	対象地域
資料・教材	滋賀県大津市	環境学習サポーター	大津市内
	キリン	キリングループ×「環境マークプログラム」コラボプロジェクト	全国
	宝酒造	宝酒造「おうちで田んぼ体験キット」無料配布	全国
	ジーエス・ユアサ バッテリー	しげるくんエコ大使	全国
	日本 C C S 調査	地球温暖化対策のスゴイ技術「CCS」を学ぼう！	全国
	3R 活動推進フォーラム	バイオマスプラスチックの漫画 無料提供	全国
	日本 W P A	E c o かるた 無料提供	全国
	トヨタ自動車	節水について楽しく学ぼう！節水 BINGO カードの提供	全国
体験・学習プログラム	岡山県	おかやま環境学習プログラム集	岡山県内
	大阪府東大阪市	東大阪市環境教育出前講座	東大阪市内
	アース製薬	クラブの『みどりのゆび アクション』を応援！園芸スペシャル講座	関東近郊
	キリン	工場見学ツアー（全 6 ヶ所）	工場の近隣地域
	タカラトミー	おもちゃで学ぶ！SDG s ナソキ教室（無料オンライン授業）	全国
	三菱電機	家族で楽しむ「生きものみつけ」	全国
	トヨタ自動車	まなびと遊びの体験を紹介！（オンラインコンテンツ）	全国
各種コンテスト	出光興産	環境フォト・コンテスト[わたしのまちの〇と×]	全国
	ジーエス・ユアサ バッテリー	小学生 ECO 絵画コンクール	全国
	ブリヂストン	こどもエコ絵画コンクール	全国
	山田養蜂場	ミツバチの一枚画コンクール	全国
	3R 推進フォーラム	3R 促進ポスターコンクール	全国
	サントリービバレッジソリューション	ぼくとわたしのリサイクル作文コンクール	全国
	教育出版	地球となかよしメッセージ	全国
	日本 W P A	Eco カルタ リニューアルアイデア大募集	全国

区分	団体名	プログラム名	対象地域
体験・学習 イベント	イエローピンプロジェクト	プログラミングで海のSDGs!	関東
	山田養蜂場	10万人のミツロウキャンドルナイト	全国
	キリン	キリン・スクール・チャレンジ	全国
発表・交流 の場	宝酒造	田んぼの学校オンライン	全国
キャンペーン	JBRC	JBRC リサイクルクイズキャンペーン 2022	全国



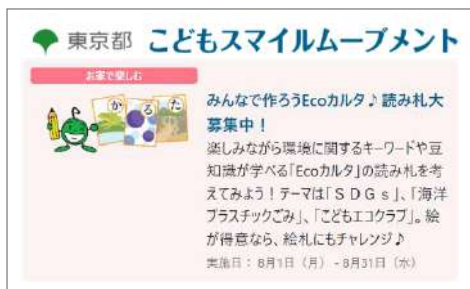
紹介プログラムのチラシ・ウェブサイト

➤ 他団体のイベント・キャンペーン情報の提供

様々な団体が実施するイベントやキャンペーンの情報をウェブサイトやメールマガジンで発信しました。これらの情報提供はクラブに役立つだけでなく、主催する団体に子どもエコクラブのことを知ってもらいたい機会にもなっています（主なものを抜粋）。

掲載日	主催組織・団体	内容
2022年5月1日	日本水環境学会	「水環境文化賞」、「みじん子賞」
2022年5月13日	五井平和財団	2022年度国際ユース作文コンテスト
2022年5月16日	日本環境教育フォーラム	第39回 わたしの自然観察路コンクール
2022年6月6日	環境省・国土交通省	全国水生生物調査
2022年6月17日	2025年日本国際博覧会協会	2022年度「教育プログラム」
2022年6月27日	内閣府	ユース政策モニター追加募集
2022年6月27日	早稲田大学環境ロドリグス ecoSMILE	「お菓子と環境!? ～パーム油ってナニ?～」オンライン講座
2022年7月11日	よこはま動物園ズーラシア、野毛山動物園、金沢動物園	「動物園の4つの役割」シールラリー
2022年7月27日	朝日新聞	「地球教室」無料の教材と出張授業
2022年8月10日	グリーン購入ネットワーク	「夏休み自由研究向け特別企画」オンライン工場見学
2022年8月18日	地球温暖化防止全国ネット	脱炭素チャレンジカップ 2023
2022年8月31日	Green Blue Education Forum 実行委員会	Green Blue Education Forum コンクール
2022年11月21日	横浜市	第30回 横浜環境活動賞
2023年3月30日	Green Blue Education Forum 実行委員会	Green Blue Education Forum コンクール開催予告

また、こどもエコクラブの事業趣旨や活動内容と類似の活動をしている様々な団体の実施事業にエントリーし、相互の関わりを深めました。



東京都 こどもスマイルムーブメント



環境省 ウォータープロジェクト

➤ ステークホルダーミーティングの実施

こどもエコクラブをご支援いただいている企業・団体環境省、こどもエコクラブ事業に助言をいただいているアドバイザーボード委員や日頃から地域で熱心に活動している各地のクラブサポーター等にお集まりいただき、オンラインにて「環境省 こどもエコクラブステークホルダーミーティング 2022」を実施しました。

「プラスチック問題」をテーマに、有識者によるご講演や国の取組み紹介、企業団体やクラブの事例発表の後、参加者同士でグループセッションを通じて意見交換を行いました。

【日時】2023年1月18日(水) 15:00~17:30

【主催】環境省、公益財団法人日本環境協会

【主なプログラム】

- ・環境トピックス「プラスチックのカーボンニュートラルな生産・利用・廃棄のライフサイクル」
国立環境研究所 社会システム領域システムイノベーション研究室 室長 藤井 実 氏
- ・企業の事例発表 「ペットボトルの水平リサイクルに対する取組み」 ジャパンビバレッジエコロジー
- ・クラブの事例発表 「海岸クリーン活動紹介」エコホヌ（沖縄県南城市）



(5) All Japan Youth Eco-club



こどもエコクラブのOB・OGを中心に、環境活動・環境学習の充実・発展を目的に、こどもエコクラブでの活動経験のある若者のネットワークとして発足しました。こどもエコクラブのサポートおよびユースメンバー同士の交流、イベント等の企画を行うなど、様々な活動を進めています。

➤ 「ユースが行く！」連載

ユースが自分のクラブの枠を越えて、他のクラブを取材して活動を紹介したり、自身が実行・参加したエコ活動の報告をししたりする記事「ユースが行く！！」を6回、ウェブサイトに掲載しました。

➤ 地域交流会・全国フェスティバルのサポート

前述した「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2023」での運営サポートのほか、地域事務局が主催するイベントで司会進行や子どもたちの工作のフォローをするなど、イベントを盛り上げたりプログラムの手伝いをしたりしてスムーズな実施に貢献しました。



■ 環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ



(1) 地域活動活性化

➤ サポーター交流会

クラブのメンバーが意欲を持って活動し、ステップアップしていくためには、日頃から子どもたちを支えてくださっているサポーターの力が重要です。今年度はサポーター同士の交流・スキルアップの機会として、岩手県が「サポーターズミーティング」を対面・オンラインのハイブリッドで開催していただきました。

各地のこどもエコクラブで活動する子どもたちの成長を支える柱となるのがクラブのサポーターです。全国事務局ではこれからも、サポーターのみなさんのスキルアップや交流の機会を提供していきます。



➤ コーディネーター説明会

地域で活動するクラブにとって、一番身近な応援団となってくれるのが地域事務局の担当者（コーディネーター）です。年度が替わり新しくこどもエコクラブ担当となった方々を対象に、こどもエコクラブの事業概要や全国の自治体でのサポート事例などをご紹介するコーディネーター説明会をオンラインで実施しました。子どもたちの活動を見守り支援することで地域の環境状態の把握や環境施策を進める際のネットワーク作りにも役立つことをご紹介しました。

➤ こどもエコクラブ交流会

前述した「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2023」に加え、各地の地域事務局にて地域の活動発表・交流会などを多数開催していただきました。参加した子どもたちは、自分たちの活動や取り組みを発表したり地域の自然に触れたりすることで、地域の環境保全の大切さを実感するとともに、今後の活動へ意欲を高めていました。



大阪府「大阪 ATC こどもエコクラブ交流会」



群馬県「こどもエコクラブ交流会」



岩手県「こどもエコクラブ交流会」

(2) 全国規模での交流と顕彰



➤ 全国エコ活コンクール

こどもエコクラブをはじめ全国の環境活動を行う子どもたちのグループを対象に、子どもたちが日頃のエコ活動をまとめることによって、活動を通して感じたことなどをふりかえるとともに新たな気づきを得るきっかけとすることを目的とした「全国エコ活コンクール」を実施しました。

子どもたちが作成した壁新聞・絵日記を「独創性」、「発展性」、「アピール力」、「地域への密着度」を選考基準として、有識者、各省庁担当官、企業担当者等からなる「選考委員会」にて審査を行い、壁新聞の環境大臣賞、文部科学大臣賞、消費者庁長官賞、日本環境協会賞、協賛企業賞、絵日記の優秀賞等を選定しました。また、All Japan Youth Eco-club の発足 10 年を記念し、中高生のいるクラブを対象とした動画も併せて募集、「Youth 賞」を選定しました。

■ 募集概要

- 募集期間：2022 年 10 月 1 日～2023 年 1 月 13 日
- 対象：全国のこどもエコクラブ、環境活動を行う子どものグループ
- 仕様：壁新聞－模造紙大または A2 サイズ、縦横自由
絵日記－A3 サイズ、縦

- その他：複数枚の応募可能

■ 募集結果

- 壁新聞 応募数：131 枚
- 絵日記 応募数：381 枚

■ 審査結果

- 受賞壁新聞・絵日記 P.35 参照



壁新聞部門 環境大臣賞受賞作品

➤ アースレンジャー認定証の授与

子どもたちの活動を称える「アースレンジャー認定証※」を作成し、1 年間に 5 回以上の活動を報告したメンバー（1,305 名：2023 年 3 月末現在）に授与しました。また、3 年間継続活動をしているメンバー（262 名）には銀バッジを、6 年間継続活動をしているメンバー（31 名）には、金バッジを授与しました。

年度が替わっても、2022 年度に活動したメンバーに対して引き続き授与していく予定です。



アースレンジャー認定証と
金・銀バッジ



➤ 「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2023」の開催

各地域で展開している活動を子どもたち同士が紹介しあうことで環境人材の育成を図るとともに、環境保全活動の定着・拡大を目的として、全国フェスティバルを実施しました。全国エコ活コンクールにて選ばれた都道府県代表クラブ、絵日記受賞者等が参加し、子どもたちの活動発表・交流や環境に関する企業・団体展示ブースの見学と、同コンクールの表彰等を行いました。

■こどもエコクラブ全国フェスティバル 2023～広がれ！SDGs アクションの輪☆～

- 開催日：2023年3月26日（日）
- 会場：①国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町3-1）
②Zoom（参加）、YouTube（視聴）
- 主催：公益財団法人日本環境協会（こどもエコクラブ全国事務局）
- 後援：環境省、文部科学省、厚生労働省、消費者庁、
独立行政法人国立青少年教育振興機構、公益社団法人こども環境学会、
全国小中学校環境教育研究会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK
- 特別協力：こくみん共済coop〈全労済〉、タカラトミー、ミールケア
- 出展企業・団体：
 - 【ブース出展】（8団体）
株式会社エフピコ、佐川急便株式会社、宝ホールディングス株式会社、トヨタ自動車株式会社、
一般社団法人日本WPA、日本CCS調査株式会社、
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、株式会社日の丸リムジン
 - 【動画出展】（8団体）
アース製菓株式会社、アマノ株式会社、一般社団法人イエローピンプロジェクト、株式会社タカラトミー、
一般社団法人日本WPA、文化シャッター株式会社、HOYA株式会社 アイケアカンパニー、
エコマーク事務局
- 協力：MSC(海洋管理協議会)、ケニス株式会社、逆川こどもエコクラブ、目白大学、
早稲田大学学生環境NPO 環境ロドリゲス
- 参加者：362名
 - ・都道府県代表クラブ：141名（子ども79名、大人62名）
 - ・絵日記受賞メンバー：7名（子ども4名、大人3名）
 - ・防災受賞メンバー：11名（子ども5名、大人6名）
 - ・一般来場者：1名（子ども0名、大人1名）
 - ・省庁、こどもエコクラブ自治体担当者、支援企業団体等 関係者：15名
 - ・出展企業・団体担当者：26名
 - ・ユースボランティア、スタッフ：51名
 - ・オンライン視聴（オンライン参加クラブ+YouTube配信視聴）：110名



全国フェスティバルに際して、環境副大臣の山田美樹様より、子どもエコクラブに「今後の皆さんの活動に期待している」とのメッセージをいただきました。



(3) 他団体からの表彰



2022 年度も、多くのクラブがコンクールで受賞したり、長年の活動を評価されて表彰を受けたりしました。その一部をご紹介します。

賞名	コンクール名/主催者	クラブ名
優秀賞	第 11 回福岡市環境行動賞/福岡市	福岡工業大学附属城東高等学校 科学部
優秀賞	エコマークアワード 2022/公益財団法人日本環境協会	品川区立山中小学校おやこエコクラブ
受賞	高槻市環境保全活動功労者等表彰/高槻市	高槻市立第六中学校・自然観察同好会
受賞	東北・水すまし賞/公益財団法人日本水環境学会東北支部	HEP21 エコクラブ
最優秀賞	Kids SDGs Eco Cup mito2022/東部燃焼株式会社と茨城県地球温暖化防止活動推進センター	逆川子どもエコクラブ
新興奨励賞	あしたのまち・くらしづくり活動賞/あしたの日本を創る協会、読売新聞東京本社など	びわ湖エコアイデア倶楽部
エコフレンドリー賞	第 13 回地域再生大賞/全国の新聞 46 紙、共同通信社	逆川子どもエコクラブ

地域事務局の取組事例



地域事務局においても、さまざまな形で子どもエコクラブを推進しています。

(1) 子どもエコクラブ関連記事(紹介・募集)の掲載



東京都練馬区 区報



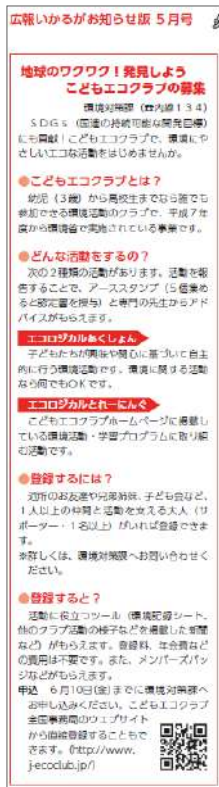
栃木県真岡市 ウェブサイト



青森県八戸市 ウェブサイト



京都府 ウェブサイト



奈良県斑鳩市 区報



大分県日田市 広報紙



愛知県豊田市 環境情報紙

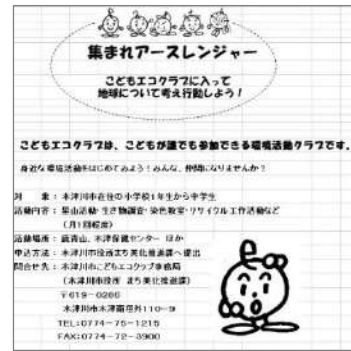
全国の地域事務局設置自治体の多くが、当該自治体のウェブサイトでも子どもエコクラブを紹介、メンバー募集を呼びかけています。

(2) 地域クラブの・メンバー募集と運営

自治体でクラブを立ち上げ、管下の子どもたちを対象にメンバーを募集、年間を通して環境活動プログラムを実施しています。



北海道札幌市



京都府木津川市

■実施自治体（全国事務局にて把握しているもの）

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	北見市	埼玉県	坂戸市	東京都	調布市	愛知県	豊田市
北海道	札幌市	千葉県	市川市	神奈川県	相模原市	滋賀県	大津市
宮城県	南三陸町	東京都	中央区	神奈川県	鎌倉市	京都府	木津川市
福島県	福島市	東京都	新宿区	長野県	岡谷市	兵庫県	たつの市
茨城県	龍ヶ崎市	東京都	荒川区	長野県	飯田市	鳥取県	米子市
栃木県	宇都宮市	東京都	板橋区	静岡県	富士市		
群馬県	前橋市	東京都	武蔵野市	静岡県	藤枝市		

(3) 地域版ニュースレターの発行

■実施自治体（全国事務局にて把握しているもの）

都道府県	市区町村
岩手県	—
群馬県	—
福井県	鯖江市
福岡県	春日市



岩手県 いわて子どもエコクラブ News



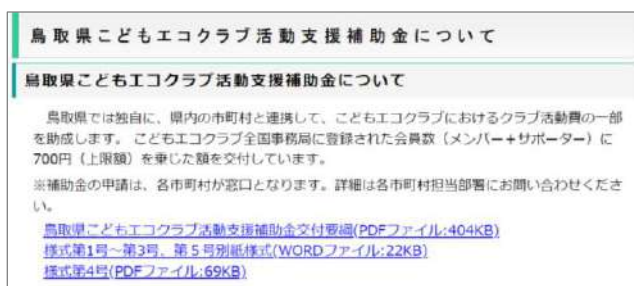
群馬県 サポーターズニュース

(4) 交流会等 環境イベントの開催

■実施自治体（全国事務局にて把握しているもの）

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	札幌市	埼玉県	—	三重県	—	京都府	木津川市
岩手県	—	埼玉県	川越市	滋賀県	—	大阪府	—
群馬県	—	岐阜県	岐阜市	滋賀県	草津市	兵庫県	神戸市

(5) クラブへの助成金・物品支援・講師派遣等



鳥取県 子どもエコクラブ活動支援補助金



福岡県 エコアドバイザー派遣

■実施自治体（全国事務局にて把握しているもの）

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
岩手県	—	千葉県	市川市	兵庫県	神戸市	佐賀県	—
岩手県	遠野市	東京都	練馬区	奈良県	—	長崎県	—
宮城県	—	福井県	—	鳥取県	—	熊本県	—
秋田県	—	福井県	永平寺町	鳥取県	北栄町	大分県	—
福島県	真岡市	長野県	—	山口県	山口市	宮崎県	—
茨城県	—	静岡県	藤枝市	高知県	—	鹿児島県	—
栃木県	—	滋賀県	—	福岡県	—	沖縄県	—
埼玉県	—	京都府	木津川市	福岡県	—		

(6) 子どもエコクラブ活動報告書等の発行・配布

■実施自治体（全国事務局にて把握しているもの）

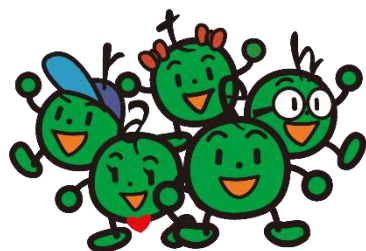
都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	函館市	埼玉県	川越市
秋田県	—	愛知県	豊田市
茨城県	—	三重県	—
群馬県	—		



茨城県



埼玉県川越市



ご支援いただいた企業・団体



本事業の実施・運営に関して、様々な企業・団体の皆さまからの支援・連携を募り、「パートナー」「寄附」等により実施・運営を行っております。

■ パートナー（パートナー会員及びイベント協賛企業・団体）、寄付（68社）

アース製薬	麒麟	ターナー色彩	ブリヂストン
アクサ損害保険	熊本銀行	タカラトミー	プロントコーポレーション
朝日テクノ	グリーンクロスジャパン	宝ホールディングス	文化シヤッター
アポクリート	ケニス	鉄建建設	マツキヨココカラ&カンパニー
アマノ	こくみん共済 coop (全労済)	東京国際フォーラム	ミールケア
アルパルク東京	CONTACTのアイシティ	トヨタ自動車	三井住友海上火災保険
アントレックス	さいかつ農業組合	ノーリツ	三菱地所レジデンス
イオンファンタジー	嵯峨野	日本C C S 調査	三菱電機
イオン 1%クラブ	CCCMK ホールディングス	日本W P A	メルカリ
出光興産	ジャパンビバレッジエコロジー (リサイクルプラザ JB)	日本容器包装リサイクル協会	山田養蜂場
SG ホールディングスグループ (佐川急便)	JTB	Pacific Life Re International	リード
エネラボ	JBRC	長谷工コーポレーション	リソー教育グループ
エフピコ	ジャパンビバレッジグループ	バンダイナムコホールディングス	リトルスタジオインク
塩ビ工業環境協会	住商フーズ	日の丸リムジン	龍角散
尾上萬	住友生命保険	フォレストパックス	
教育出版	3R 活動推進フォーラム	福岡銀行	
共立理化学研究所	積水化学工業	ふくろうのはね	

■ 寄付（その他・個人）

つながる募金	メルカリ寄付	リサイクル募金(団体延べ 10、個人延べ 14)
--------	--------	--------------------------

この他、6 の個人や子どもエコクラブの方々からご寄附をいただきました。



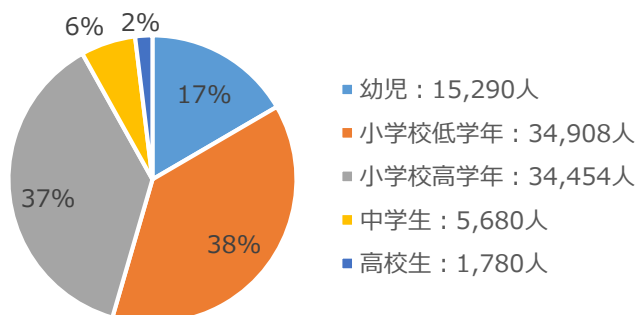
登録データほか

■ 2022 年度都道府県別登録データ

県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
北海道	38	698	139
青森県	25	1,229	228
岩手県	31	698	114
宮城県	17	2,774	302
秋田県	41	3,406	553
山形県	2	10	3
福島県	9	193	62
茨城県	29	1,283	218
栃木県	20	1,509	420
群馬県	96	1,077	286
埼玉県	124	12,947	1,704
千葉県	70	1,903	306
東京都	268	7,660	999
神奈川県	129	1,420	489
新潟県	28	755	97
富山県	39	1,059	90
石川県	5	98	42
福井県	36	1,647	172
山梨県	6	162	24
長野県	20	661	169
岐阜県	35	1,325	129
静岡県	64	2,969	557
愛知県	49	2,146	373
三重県	63	8,479	3,470

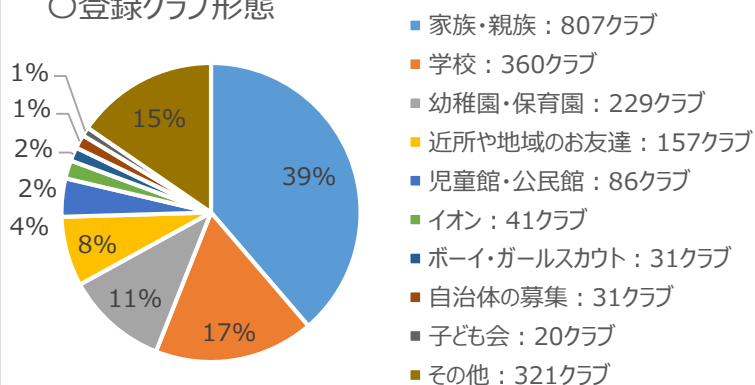
県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
滋賀県	66	5,364	485
京都府	17	349	67
大阪府	57	3,752	253
兵庫県	65	1,555	322
奈良県	8	135	49
和歌山県	6	191	19
鳥取県	32	3,337	1,027
島根県	9	150	97
岡山県	33	1,294	488
広島県	49	557	120
山口県	9	191	30
徳島県	4	587	55
香川県	5	40	16
愛媛県	6	46	18
高知県	16	120	51
福岡県	199	6,443	1,097
佐賀県	125	5,385	1,090
長崎県	23	841	134
熊本県	18	1,065	132
大分県	29	1,519	215
宮崎県	31	1,905	181
鹿児島県	17	1,011	142
沖縄県	14	167	55
合計	2,082	92,112	17,089

○登録メンバー 学年内訳



合計：92,112人

○登録クラブ形態



合計：2,082クラブ

■ 2022 年度地域事務局登録一覧 (47 都道府県 489 市区町村)

北海道	札幌市	函館市	旭川市	室蘭市	釧路市	北見市	網走市
	苫小牧市	三笠市	伊達市	石狩市	羽幌町		
青森県	青森市	弘前市	八戸市	五所川原市	十和田市	平内町	外ヶ浜町
岩手県	盛岡市	宮古市	北上市	遠野市	釜石市	奥州市	雫石町
	岩泉町						
宮城県	仙台市	石巻市	気仙沼市	多賀城市	利府町	女川町	
秋田県	秋田市	横手市	大館市	由利本荘市	大仙市	にかほ市	
山形県	酒田市	新庄市					
福島県	福島市	会津若松市	郡山市	いわき市	喜多方市	相馬市	二本松市
	伊達市	会津美里町					
茨城県	水戸市	日立市	土浦市	古河市	龍ヶ崎市	北茨城市	笠間市
	取手市	つくば市	ひたちなか市	守谷市	坂東市	神栖市	茨城町
	東海村	大子町					
栃木県	宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市	日光市	小山市
	真岡市	大田原市	矢板市	那須塩原市	さくら市	那須烏山市	下野市
	上三川町	益子町	茂木町	市貝町	芳賀町	壬生町	
群馬県	前橋市	高崎市	桐生市	伊勢崎市	太田市	沼田市	館林市
	渋川市	藤岡市	富岡市	安中市	みどり市	榛東村	下仁田町
	片品村	川場村	昭和村	みなかみ町	大泉町		
埼玉県	さいたま市	川越市	熊谷市	川口市	秩父市	所沢市	飯能市
	加須市	春日部市	狭山市	深谷市	上尾市	草加市	越谷市
	戸田市	入間市	朝霞市	志木市	新座市	久喜市	八潮市
	富士見市	三郷市	坂戸市	幸手市	鶴ヶ島市	吉川市	ふじみ野市
	三芳町	小川町	吉見町	寄居町	宮代町		
千葉県	千葉市	市川市	船橋市	木更津市	松戸市	野田市	茂原市
	成田市	佐倉市	習志野市	柏市	市原市	八千代市	我孫子市
	浦安市	印西市					
東京都	中央区	新宿区	江東区	品川区	世田谷区	中野区	杉並区
	豊島区	北区	荒川区	板橋区	練馬区	葛飾区	江戸川区
	八王子市	立川市	武蔵野市	三鷹市	青梅市	府中市	調布市
	町田市	小平市	東大和市	武蔵村山市	稲城市		
神奈川県	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市
	茅ヶ崎市	厚木市	大和市	綾瀬市	寒川町		
新潟県	新潟市	長岡市	三条市	柏崎市	新発田市	十日町市	糸魚川市
	妙高市	上越市	阿賀野市	佐渡市	魚沼市	南魚沼市	粟島浦村

富山県	高岡市	魚津市	砺波市				
石川県	金沢市	羽咋市	白山市	津幡町			
福井県	福井市	鯖江市	越前市	坂井市	永平寺町	若狭町	
山梨県	甲府市	都留市					
長野県	長野市	松本市	上田市	岡谷市	飯田市	小諸市	茅野市
	佐久市	千曲市	坂城町	飯綱町			
岐阜県	岐阜市	大垣市	多治見市	関市	恵那市	美濃加茂市	各務原市
	可児市	笠松町	垂井町	揖斐川町			
静岡県	静岡市	浜松市	沼津市	熱海市	三島市	富士宮市	島田市
	富士市	磐田市	焼津市	藤枝市	御殿場市	袋井市	下田市
	裾野市	湖西市	菊川市	牧之原市	川根本町		
愛知県	名古屋市	豊橋市	岡崎市	一宮市	瀬戸市	半田市	春日井市
	豊川市	津島市	豊田市	安城市	蒲都市	江南市	稲沢市
	日進市	東浦町	南知多町				
三重県	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	鈴鹿市	尾鷲市	鳥羽市
	志摩市	玉城町					
滋賀県	大津市	彦根市	長浜市	草津市	高島市	日野町	愛荘町
	多賀町						
京都府	京都市	宮津市	京丹後市	木津川市			
大阪府	大阪市	堺市	豊中市	吹田市	泉大津市	高槻市	守口市
	枚方市	茨木市	八尾市	寝屋川市	河内長野市	大東市	和泉市
	箕面市	高石市	東大阪市	交野市	阪南市	熊取町	
兵庫県	神戸市	姫路市	尼崎市	芦屋市	伊丹市	相生市	加古川市
	宝塚市	篠山市	たつの市				
奈良県	奈良市	天理市	桜井市	斑鳩町			
和歌山県	和歌山市	海南市	橋本市	有田市	御坊市	田辺市	新宮市
	紀の川市	岩出市	紀美野町	かつらぎ町	九度山町	高野町	湯浅町
	広川町	有田川町	美浜町	日高町	由良町	印南町	みなべ町
	日高川町	白浜町	上富田町	すさみ町	那智勝浦町	太地町	古座川町
	北山村	串本町					
鳥取県	鳥取市	米子市	倉吉市	若桜町	八頭町	三朝町	湯梨浜町
	琴浦町	北栄町					

島根県	松江市	浜田市	出雲市	益田市
-----	-----	-----	-----	-----

岡山県	岡山市	倉敷市	高梁市	浅口市	矢掛町
-----	-----	-----	-----	-----	-----

広島県	広島市	呉市	尾道市	福山市	大竹市	江田島市
-----	-----	----	-----	-----	-----	------

山口県	下関市	宇部市	山口市	萩市	岩国市	周南市	山陽小野田市
	平生町						

徳島県	徳島市	阿南市
-----	-----	-----

香川県	高松市	東かがわ市
-----	-----	-------

愛媛県	松山市	今治市	西条市
-----	-----	-----	-----

高知県	室戸市
-----	-----

福岡県	北九州市	福岡市	大牟田市	久留米市	飯塚市	柳川市	行橋市
	小郡市	筑紫野市	春日市	大野城市	太宰府市	古賀市	嘉麻市
	朝倉市	みやま市	宇美町	志免町	桂川町	香春町	荻田町

佐賀県	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市
	小城市	嬉野市	吉野ヶ里町	みやき町	玄海町	有田町	江北町
	太良町						

長崎県	長崎市	佐世保市	諫早市	大村市	平戸市	南島原市
-----	-----	------	-----	-----	-----	------

熊本県	熊本市	八代市	人吉市	荒尾市	水俣市	玉名市	山鹿市
	宇土市	上天草市	天草市	南小国町	益城町	山都町	芦北町
	あさぎり町						

大分県	大分市	別府市	日田市	佐伯市	杵築市	宇佐市
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

宮崎県	宮崎市	都城市	延岡市	五ヶ瀬町
-----	-----	-----	-----	------

鹿児島県	鹿児島市	鹿屋市	指宿市	日置市	霧島市	奄美市	始良市
	大崎町	瀬戸内町					

沖縄県	那覇市	浦添市	沖縄市	宮古島市	金武町	与那原町	南風原町
	八重瀬町	竹富町					

全国エコ活コンクール 受賞作品

■ 壁新聞部門

環境大臣賞



「青き海の SOS マイクロプラスチックから守ろう新聞」
スケッチ子供隊(宮城県仙台市)

文部科学大臣賞



「エコホヌ新聞」
ECO HONU (エコホヌ) (沖縄県南城市)

消費者庁長官賞



「海からの便りを音にのせて」
色響 (IRO & HIBIKI) (鹿児島県鹿児島市)

こくみん共済 coop 賞



「イタセンパラの住む木曽川を大切に」
劇団シンデレラ(愛知県一宮市)

タカラトミー賞



「消えたハスもどっこい」

いわき市立高坂小学校 SDGs 隊 (福島県いわき市)

日本環境協会賞



「福岡市の水の旅」

ぶらぶらあぶらクラブ(福岡県福岡市)

ミールケア・エコまる賞



「エコしんぶん」

神楽こども園 りんごキッズ (兵庫県神戸市)

YOUTH 賞【動画】



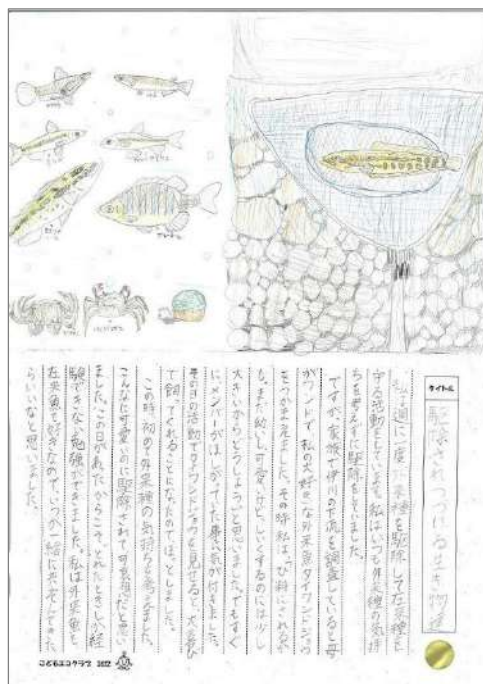
福岡工業大学附属城東高等学校 科学部(福岡県福岡市)



■ 絵日記部門 優秀賞



「LEDとでんき球のちがい」
石巻市鹿又地区放課後児童クラブ(宮城県石巻市)
高橋 六花さん



「駆除されつづける生き物達」
玉一アクアリウム(兵庫県神戸市)
弓削 朱花梨さん



「緑がいっぱいの福島」
いわき市立高坂小学校 SDGs 隊(福島県いわき市)
千葉 琥太郎さん



「ヘチマでグリーンカーテン」
せいわエコクラブ(大阪府大阪市)
金山 凜さん



公益財団法人日本環境協会

こどもエコクラブ全国事務局

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5

TMMビル 5階

TEL 03-5829-6359 E-mail j-ecoclub@jeas.or.jp